

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2019年 3月 日

事業所名：放課後等デイサービス ジョイ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3階と2階に活動スペースと体を動かすスペースと分けており、様々な活動を行うことが可能です。	はい:13名 どちらともいえない:2名 いいえ:1名 わからない:0名	改善目標：保護者に万が一の際に、工夫してお伝えしていきます。 ご意見：運動する場所が別なので子供にとって良いと思います。
	2 職員の適切な配置	基準に適した人数を配置しており、有資格職員を配置しています。	はい:13名 どちらともいえない:0名 いいえ:1名 わからない:2名	改善目標：保護者に対して、適切な数の職員を配置している旨をお伝えしていきます。 ご意見：色々な支援が必要な子達なので配置人数は多めにされているのです。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設来所時から、退所までの流れを、わかりやすく視覚支援を行っています。	はい:13名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:1名	改善目標：児童の特性に応じた、視覚支援をより力をいれています。 ご意見：2Fと3Fとで階段はありますが、先生の
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	施設の雰囲気が家庭的で、あたかも家にいるような生活空間であるよう心がけている。	はい:15名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	改善目標：今後とも、居心地のよい空間を保つよう努めています。 ご意見：自宅とかわらないような環境が
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	対象児童のモニタリングを定期的に行い、個別支援計画に沿った支援が出来ているか職員同士で常に検討しています。また必要に応じて計画の改善を計っています。		改善目標：職員間の情報共有や日々の振りかえりを行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は現在のところ実施していないです。		改善目標：今後検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	市の研修などの積極参加、又内部の研修も実施しています。		改善目標：職員が出来るだけ外部研修にも参加できるよう努めています。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントをしっかりと行い、根拠に基づいた個別支援計画の作成を行っています。	はい:16名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	改善目標：保護者のニーズや現在児童が必要な支援の見極めができるよう努めています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育と集団療育を遊びとして組み合わせた支援や、支援の計画をしています。支援が必要な児童には、部分的な参加や職員のヘルプの配慮をしています。	はい:15名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	今後も各児童に必要な療育を、遊びのなかで楽しんで学べるよう努めています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の生活のスタイルに合わせた支援計画や保護者の希望や本児の希望を含めた総合的な支援計画を作成しています。	はい:14名 どちらともいえない:2名いいえ:0名 わからない:0名	より分かりやすく、児童が将来に向けて自立ができる個別支援計画の作成に努めています。
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に基づいた支援の実地を行っています。	はい:14名 どちらともいえない:2名いいえ:0名 わからない:0名	計画に基づいた支援と日々の活動の中での評価と改善を行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎月会議を行い、月以降の行事予定の立案行っています。	はい:15名 どちらともいえない:1名いいえ:0名 提供時間や状況に応じた、支援を行っていきます。	今後も児童が楽しめる様々な活動を職員間で立案を行っていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日・長期休暇に合わせたたプログラムやイベントを立案者、実施を行っています。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	行事予定の立案にあたり、児童が楽しんでさんができるよう工夫して行っています。		改善目標:今後も多彩なプログラムを楽しめるよう工夫していきます。 ご意見:毎日違った楽しいプログラムを考え下さって、子供も毎回楽しみにしています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	申し送りの時に前日の様子や当日の流れの確認を行っています。		児童の様子の把握や、必要な支援の方向性をしっかりと統一して行っています。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	申し送りで確認を行っていますが、緊急の場合はラインなどでの情報の共有を行い、申し送りで再度確認を行っています。		学校や保護者の情報収集をしっかりと行い児童の理解に努めています。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援内容を個人記録に記載して毎日保存し、翌日の申し送りでの職員間の共有を行い、支援についての検証と改善を行っています。		今後とも誰でも分かりやすい正確な記録保持に努めています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。		計画書に沿った支援と、定期的な支援の見直しや改善を行っていきます。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	会議には児童発達管理者が参加し、情報や意見交換や保護者からの要望の確認を行っています。 会議終了後、申し送りにて内容を通達しています。		今後とも関係機関と連携を行っていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する利用者が現在いません。		該当する利用者がいません。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する利用者が現在いません。		現在のところ該当する利用者がいません。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所からの移行支援は、まだ請け負ったことはありません。学校等の連携は学びの支援ネットワークのコピーを頂き、情報共有を行っています。		今後とも関係機関と連携を行っていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	進学などに対しての学校の情報の提供などは行っているが、まだ本施設では高校卒業などの児童がいないため情報の提供はない状態です。		今後学校を卒業する児童がで出来るので、支援内容の提供を行っていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	こべっこランドの神戸市総合児童センターの研修などに参加しています。		研修参加を優先的にできるようシフト調整を行っていきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	まだ交流の機会を持てていませんが、東灘区のフェスティバルなどに参加しています。	はい:2名 どちらともいえない:2名 いいえ:2名 わからない:10名	改善目標:少しづつ交流の場を広げていくよう努めています。 ご意見:あまり必要がない様に思う。それよりもデイの内容向上や地域活動に参加でいいと思う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域のイベントなどに参加しているが、地域の方を招待までには至っていません。		改善目標:少しづつ交流の場を広げていく よう努めています。
保護者への説明責・連携支援	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書面を提示して、分かりやすく説明するように心がけています。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:1名 わからない:0名	改善目標:これからも分かりやすく、丁寧に説明するように心がけていきます。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者の要望と現在の児童の基に支援内容を確認頂き、支援の方向性の説明を行っています。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:1名 わからない:0名	改善目標:これからも分かりやすく、丁寧に説明するように心がけていきます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者に対する助言は大変難し問題のため、保護者からの児童に関する相談などがある場合助言を行っています。	はい:7名 どちらともいえない:4名 いいえ:2名 わからない:3名	改善目標:今後とも保護者が相談しやすい 雰囲気づくりに努めてまいります。 ご意見:ペアレント・トレーニングって何
	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	児童の様子を日頃から確認し、保護者との情報共有を行っています。	はい:14名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:0名	改善目標:定期的に開催する保護者会で効果的な療育、発達状況に合わせた療育について情報を共有していきます。 ご意見:ノートや送迎時口頭で聞いています。 日々の活動、子供の様子を連絡帳やまた、送迎時に教えて下さり、ありがとうございます
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別懇談会を年に2回行っています。 保護者からの相談の場合はその都度行っています。	はい:12名 どちらともいえない:4名 いいえ:0名 わからない:0名	個別懇談会において対応すると同時にそれぞれの個別の相談にもきめ細かく対応していきたい。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を年2回行っています。	はい:11名 どちらともいえない:3名 いいえ:1名 わからない:1名	改善目標:保護者間の連携にもより対応していきたい。 ご意見:必要と思わない。個々に必要な人とは連絡がとれている。 お茶会など開催されていて、保護者同士の 交流ができるので楽しみにしています。 子供の活動記録のビデオの上映がある。 保護者会で 他のお母さま方 先生方と

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口を設置し、苦情があった場合にはできるだけ迅速に事実確認を行い、保護者対応を行っています。	はい:11名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:4名	苦情相談は早期に対応すべく、日ごろから心がけていきたい。 ご意見:あまり困ることがないので。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童の特性やニーズや保護者のニーズに合わせた適切な配慮を行っています。	はい:16名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	日々の連絡帳での意思疎通をベースにきめ細かく対応していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動内容はブログや「おたより」と保護者会で発信を行っている。	はい:16名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	保護者会、「おたより」ブログ等の内容の充実を図っていきたい。 ご意見:毎月おたよりが作成されており、1か月の予定が分かり、子供にとって良
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報についてしっかりと保護者と情報取り扱いについて、契約時に行っています。 就業規則において、守秘義務となっています	はい:15名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	情報漏洩の内容万全を図っていきたい。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員向けの研修を隨時行っています。 感染症についてや避難訓練などの実施については保護者におたよりなどで発信しています。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	折に触れて各マニュアル内容を情報発信していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回避難訓練を活動プログラムの中で実施を行っています。	はい:11名 どちらともいえない:3名 いいえ:0名 わからない:2名	現在行っている避難訓練をさらに充実させていきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	施設で研修を実施しています。外部の研修会に参加する機会を設け、虐待防止のための知識の習得や、意識の向上を行っています。		日頃から職員自身が子どもの人権について研鑽する機会を設け高い意識を持つよう心がけていきたい。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	児童の安全確保のため身体拘束を行う、職員間で情報共有しています。個別支援計画に支援が必要な児童に記載を行っています。		身体拘束は最終手段とし、子供との信頼関係の構築を最優先で意識付けしたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関しては、保護者にアセスメントで確認をしています。医師の指示書が出ているケースは今のところありません。		必要であれば、アレルギーについては施設内に掲示してでも徹底を図りたい。
	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底	事例の作成、保存と、職員間で情報共有を行っています。		無事故の重要性を職員が常に意識する雰囲気を作っていくたい。